

一日研の報告

1 期日 4月4日

2 参加者 O YO AR KA TA WA NI AS AK HA

3 内容

・テーマは、「おどろける」と「リアリティ」。

前半は、学習集団づくりの理論を復習した後、初日から3日間をイメージして、より具体的に演習形式で行いました。浅越さんや西池さんに実際に体験してもらい、それを周りは自分だったらどうするか、と考えることで、体験した本人は実感を伴った学びを、周りで見ている人は自分に引きつけてイメージをより具体的に つくることができました。大切なこの3日間、この学びを生かしてできたこと、来週にもう一度トライしよう、と思うことがあったと思います。

「ぼくのいぬころ」は、解釈と実習を同時進行で行っていきました。子どもたちから出てくる発言に本気で感動し、ほめ、次へどうつなげていくのか。「おどろける」こと。そして、子どもが見せる様々な「事実」を見逃さず、何らかのアクションを起こすこと。そのための目をもつこと。語ること。いろいろな要素がたくさんありました。私自身、とても勉強になりました。

新教材の解釈、まだまだ分からないことがたくさんあるなあ、と実感しました。それは、自分の解釈する力のなさです。やはり、一人ひとりの自力が問われます。これから少しずつ身につけていきましょう。個人として。会として。HA